

## 令和7年度第2回茅ヶ崎市社会教育委員の会議定例会会議録

議題	(1) 答申の決定について (2) 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の報告について (3) その他
日時	令和8年2月6日(金) 10:00～11:20
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎5階 D会議室
出席者氏名	(委員) 議長：吉原 弘子 下村 耕一郎、加藤 盛朗、沼上 純子、深井 孝一、 城田 禎行、山本 珠美 (欠席委員) 副議長：宮下 孝義 青木 千賀子、山下 理恵 (事務局) 松岡教育推進部長 [社会教育課] 仲手川課長、内海課長補佐、葛西副主査 栗原 (会計年度任用職員)
会議資料	・ 次第・委員名簿 ・ 資料1：答申(案) ・ 資料2：地域学校協働活動の推進についての答申について(案) ・ 資料3：答申(素案)に関する意見及び対応について ・ 参考資料：第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の実績について
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

(会議の記録)

○仲手川社会教育課長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

ただいまから、令和7年度社会教育委員の会議第2回定例会を開催いたします。

本日、宮下委員、山下委員、青木委員からは欠席の御連絡をいただいております。

また、10月1日付で社会教育課に人事異動がございました。前回の臨時会の際には欠席しておりましたので、改めて御紹介させていただきます。社会教育担当副主査の葛西でございます。

## (職員紹介)

### ○仲手川社会教育課長

社会教育委員の定数は10名となりますが、本日は過半数の出席をいただいておりますので、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第4条の規定により、会議は成立していることを御報告させていただきます。ここからは吉原議長に進行をお願いいたします。

### ○吉原議長

皆さん、改めましてこんにちは。昨年11月20日・21日の第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が終わり、皆様ほっとしているところではないでしょうか。特に発表を担当してくださった下村委員は本当にお疲れ様でした。この件につきましては、参加された皆様から、後ほど御意見を頂戴したいと思います。

先日、最後の起草委員会を開催させていただきました。この会議には、起草委員以外の委員の皆様にも、時間を調整しながら御参加いただき、皆様の御意見を案にまとめることができ、本当に良かったと思っております。本日は、この答申案について皆様の決議をいただき、教育委員会へ提出するための大事な会議となります。忌憚のない御意見を頂戴したいと思います。

それでは、ただいまから、令和7年度社会教育委員の会議第2回定例会を開催いたします。会議録については、事務局に案を作成していただき、各委員に御確認いただいた上で決定して公開とさせていただきます。

会議開催に先立ちまして、配布資料の確認を事務局よりお願いいたします。

### ○事務局

(事務局より配付資料の説明)

### ○吉原議長

ありがとうございました。資料はお揃いでしょうか。

それでは議題1「答申の決定について」に入ります。本日は最終的な内容を決定したいと思います。また、本日ここで出た意見により修正が生じた場合には、また会議を開くことはできませんので、事務局に一任ということをお願いしたいと思います。

それでは事務局から御説明をお願いいたします。

### ○事務局

(資料1、2、3を説明)

### ○吉原議長

ありがとうございました。本当に多くの時間をかけて話し合いさせていただきまして、事務局の力をお借りしてここまでまとめることができたことに感謝したいと思っております。

す。個々に意見を出された皆さんは、御自分の意見が反映されているか、あるいは修正が必要な点などあれば、ここで御意見を頂戴したいと思います。宜しくお願いいたします。

深井委員、いかがでしょうか。

○深井委員

前回の臨時会で申し上げた点をきれいにまとめていただき、ありがとうございます。

○吉原議長

こちらこそ、とても建設的な御意見をいただきありがとうございました。今まで慣例として続けてきた答申のスタイルでしたが、私たちの思いである結論を最初に伝えるということは大事なことのだと思いました。今後、こういう形で書いていければよいと思っています。

○深井委員

一点、表記の仕方について意見があります。吉原議長が書かれた「はじめに」の文中に「小学校、中学校」という表記がありますが、3ページ以降は「小・中学校」という表記になっています。「小・中学校」という表記に統一するのはいかがでしょうか。

○吉原議長

直していただくことに関して異論はありません。統一していただければと思います。

○事務局

では、「小・中学校」に統一し、修正させていただきます。

○吉原議長

よろしく宜しくお願いいたします。

○山本委員

非常に細かい点ですが、同じく「はじめに」の本文中で数字が半角になっている箇所があります。グラフ内の数字は半角、本文中は全角が良いかと思います。

○事務局

入力の手際で申し訳ありません。全角に統一させていただきます。

○吉原議長

私からも一点よろしいでしょうか。最後の「答申作成の流れ」にある、経過を時系列に記した表に「3月19日、教育委員会へ答申を提出する」というのを追記してはいかがでしょうか。せっかく社会教育委員として教育委員会定例会に出席し答申を提出するので、記載があるとありがたいです。

○事務局

わかりました。追記いたします。

○吉原議長

お願いいたします。

○深井委員

そうしますと、同じ表に「諮問を受けました」という日付もあっても良いのではないのでしょうか。

○吉原議長

諮問を受けた日付に関しては、表の上に文章として明記されています。このままで良いように思いますが、改めて表内に記載したほうがよろしいでしょうか。表内にある、「令和6年10月21日 令和6年度臨時会」の「諮問について」「答申の作成について」という議題があります。これが諮問を受けた日としての記載になります。

○深井委員

「諮問を受けた」という書き方をされるのかと思いました。

○吉原議長

では、答申提出日も外したほうがよいですか。

○深井委員

いえ、諮問を受けての答申なので、3月19日の件を追記するという事でよいかと思えます。

○吉原議長

ありがとうございます。他にお気づきになられたところはございますか。

○下村委員

細かいのですが、私からも、数字の表記についてよろしいでしょうか。6ページ、1行目の文中の8も半角になっています。

○事務局

ありがとうございます。数字の全角・半角については、改めて全体的に見直しをさせていただきます。

○吉原議長

他に何かお気づきの点はございますか。

(特に声なし)

○吉原議長

各方面にこの答申は公表されますので、あとは事務局で細かい点の見直しをお願いします。大きな変更はないようですので、このまま、まとめていただければと思います。お手数ですがよろしく願いいたします。

それでは、採決を諮ります。本日の意見を反映させたものを最終的な答申書とすることに、御異議ございませんか。

○委員一同

(異議なし)

○吉原議長

ありがとうございます。では、答申について、こちらで決定とさせていただきたいと思えます。

続きまして、教育委員会への答申の提出方法について、事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局

先ほど申し上げました通り、3月19日の教育委員会定例会に、委員の皆様にも御出席いただき答申を提出するという形が取れればと思っております。

○吉原議長

今回、事務局が教育総務課と話し合い、教育長に直接答申をお渡しする場が設けられるように調整してくださったことは、とてもよかったと思っております。定例会は3月19日と決定してまいりまして、開催時間についてはおおよそ午後と聞いております。

当日出席いただける方は挙手をお願いします。

○事務局

(教育委員会定例会の参加予定委員を確認)

今日御欠席の委員の方には、後ほど個別に確認をさせていただきます。

○吉原議長

教育委員会定例会に御出席の委員の皆様には、後日事務局から詳細の連絡があると思えますので、よろしく願いいたします。

前期は提言書にならずに、まとめきれなかった協議が母体にあつてこの答申ができました。今回、素晴らしい答申が完成したと思っております。

私たち社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して意見を述べる事ができると社会教育法で規定されていますが、実際に教育委員会定例会に出席をして、対面で答申を提出するという事は今回初めての事です。

県の理事会の中でも、教育委員会の会議に出席するという市町はなかなかありません。これは本当に、素晴らしいことだと思います。事務局の御苦労の上、教育総務課の御尽力をいただいて、こういう結果になったかと思います。本当にありがとうございました。

おそらく3月の教育委員会定例会はかなり多くの議案があろうかと思います。そういう会議の時間を割いていただけるということは、本当にありがたいことだと思っています。まだどのくらいの時間をいただいて、どんな話ができるのかはわかりませんが、委員の皆様には、ぜひ出席をしていただき、教育委員の方々より御意見や御質問がありましたら、発言していただければありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、この答申は、教育委員、公民館運営審議会委員、市議会議員、教育委員会関係課、市内小中学校、近隣市等に配布することになります。また、市のホームページにも掲載されますので、多くの方に見ていただければありがたいと思います。冊子の印刷、郵送、通知に関しては、お手数ですが、事務局よろしく願いいたします。

それでは、議題1について、これで終了とさせていただきます。

#### ○吉原議長

次に「議題2 第56回関東甲信越静社会教育研究大会の報告について」事務局より説明をお願いします。

#### ○事務局

(資料説明)

#### ○吉原議長

ありがとうございます。それでは大会に参加をされた委員の皆様の感想を伺いたと思います。一日目は全体会、二日目は分科会ということで、御自身が参加された分科会について御報告いただければと思います。まず深井委員からお願いします。

#### ○深井委員

私は第3分科会に参加しました。第3分科会は群馬県高崎市の発表と寒川町の発表、そしてシンポジウムという構成でした。高崎市は、教育委員会からの諮問に対する答申の内容を事例発表されていて、公民館の学習機会や子どもの支援に関する発表をされていました。

寒川町の発表は公民館と図書館の活動についての内容でした。実は、寒川町も教育委員会から、茅ヶ崎市と同じく地域学校協働活動の推進について諮問を受けていて、その答申内容の発表が聴けるのではと期待していましたので、答申内容について簡単に質問させていただきました。寒川町としては、答申内容を具体的に話し合っている段階ということ

で、地域と学校をどうするか、また、地域学校協働活動について受け入れ側が整っていない状況の中、アピールが必要ではないかというようなお話をいただきました。

シンポジウムでは高崎市、寒川町、横須賀市それぞれの代表者で、繋がりをどう作っていくかといった話を聞くことができ、参考になりました。

#### ○吉原議長

ありがとうございました。寒川町は令和5年度に神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会で発表もされていましたが、社会教育委員と図書館との繋がりがとても強いです。高崎市の発表を聴くことができたのは、関東甲信越静での大会だからこそですね。続いて、城田委員お願いいたします。

#### ○城田委員

私は、第5分科会に参加しました。新潟県見附市と真鶴町による発表でした。

新潟県見附市による発表は、見附中学校の学校運営協議会の取組として、4、5人のコアチームを選定しロードマップを作成することで、目指すべき目標を設定し、進めているというものでした。現在、梅田小学校と中学校の学校運営協議会の委員である私にとって、非常に参考になる発表でした。早速、この事例を発表させていただいて、今後、梅田小学校と中学校の学校運営協議会においても運用できる事例なのではないか、と提案させていただきました。

真鶴町の発表は、町内に一校しかない小学校を、全町挙げて支えているという話で、海がある真鶴町が、海のない長野県の小学校と連携・交流していて、学校単位というよりも、町ぐるみで動いているというスケールの発表でした。

グループワークのまとめとしては、学校と地域が連携する場を作るのは非常に難しいことで、学校・地域それぞれにあるルールを、どうすり合わせていくかというのが重要で、それがうまくいかないと、いつまでたっても交わることはできないのではないかと、というような話をいたしました。以上です。

#### ○吉原議長

ありがとうございます。次に、山本委員お願いいたします。

#### ○山本委員

私は、1日目の午後のシンポジウム、2日目は第4分科会に参加しました。

シンポジウムでは台東区の社会教育主事の阪本さんのお話が印象的でした。住民のニーズをどう汲み取るか、行政としての姿勢を学ばせていただきました。

第4分科会での下村委員の発表は非常にわかりやすく素晴らしいものでした。

グループワークでは、発表した川崎市と茅ヶ崎市の他に、仙台市の社会教育主事の方とも交流し、自治体による人事制度の違いも知ることができました。仙台市は政令指定都市として市独自に人事制度を設けており、学校の教員が人事異動で社会教育主事になるという仕組みがあります。教員が社会教育の現場を数年経験されるという人事制度で、社会教

育主事の人数も、全市で20数名いらっしゃいます。実は、これには良い面と悪い面の両面があって、地域に開かれた教育課程を進めていく上で、学校側や先生方の社会教育の理解を進め認識を高めていくという点では良い取組ではあるのですが、一方で、地域の中には多様な年齢層の方々もいらっしゃって、全てが学校との連携ばかりになってしまっているものか、やはり社会教育の専門家も一方で必要なのではないかという議論もあります。ただ、地域学校協働活動といった視点でみると、こういった仕組みができていたことが仙台市のひとつの特徴であって、その仕組みが地域にしっかりと位置づいていたことで、震災時の避難所運営などもうまく機能したという経験もあり、しっかり人事制度として機能しているというようなことも、仙台市の出席者からお伺いすることができました。

以上です。

#### ○吉原議長

ありがとうございました。シンポジウムでは、相模原から御出席されていた全盲の社会教育委員の方をお見掛けしまして、せっかくなので御意見お伺いしたかったのですが、お声掛けできずに残念でした。

では、次に沼上委員お願いいたします。

#### ○沼上委員

初日はシンポジウムに出席しました。今、多様性社会やジェンダーフリーなどいろいろと言われている中で、翌日の私たちの発表テーマの「共生社会」と繋がる話で、様々な学びがありました。2日目は、川崎市の方と席が近くになり話をさせていただく機会があり、地域が良くなるまでの苦労などの裏話などを伺うことができ感動しました。下村委員の発表は、終始笑顔でよどみのなく、リハーサル時よりもさらに素晴らしい発表でした。発表内容に手作り感があって、自分たちの活動に愛着を感じながら拝見しました。

グループワークは、山本委員と同じグループで、仙台市の方の明るく元気なお話をお聞きすることができました。自分としては、多くの学びがあった2日間でした。ありがとうございました。

#### ○吉原議長

ありがとうございました。加藤委員、お願いいたします。

#### ○加藤委員

1日目シンポジウム、2日目、第2分科会に参加しました。分科会では、栃木県市貝町のジュニアリーダーによる発表がありました。高校生のジュニアリーダーが町を盛り上げようと音楽フェスタを企画し、周りや地域の大人、OB・OGまで、たくさんの人の協力を得て開催することができたという、とてもよい発表でした。ただ、会場から質問が投げかけられたときに、戸惑いながらも回答しようと苦戦している高校生たちに、事務局からのサポートがなかったことがとても残念でした。この町のジュニアリーダーは40周年を

迎える歴史があつて、高校生がこの町を盛り上げたいという思いで、町の将来を考えていて、とても素晴らしいという感想が参加者からも多く寄せられていました。

藤沢市からは、インターンシップ体制の発表がありました。インターンシップ経験のあるNPOと連携を図り、社会教育につながる活動として、とても充実した取組になったという発表でした。藤沢市は、このインターンシップの体制・仕組みのパンフレットまで作成されていて、隣市でありながら、茅ヶ崎市とは異なる充実ぶりを知ることができました。

#### ○吉原議長

ありがとうございました。続いて、下村委員、お願いいたします。

#### ○下村委員

事前の練習や準備、当日の声援のおかげで、安心して自信をもって発表することができました。発表や質問に対しても、委員の皆さまからのサポートがあり「チーム茅ヶ崎」として発表できたのではないかと思います。壇上からも、傍聴の方々関心の高さを感じました。学生の方から質問を受け、年代を超え、若い方々も取り組まれているということが、まさに共生社会の大事なところでもあり、嬉しく思いました。アンケートにも「大変良かった」という評価をいただき、茅ヶ崎の発表内容をきっかけに、グループワークが充実したものになった旨の記述もありました。終演後ですが、他県からの参加者と歓談することができたことも良かったです。発表者としてよい経験をさせていただき感謝しています。ありがとうございました。

#### ○吉原議長

皆さんありがとうございました。今回の大会に際して、理事会からは分科会での発表を是非にと勧められていました。当初、茅ヶ崎市としては答申作成中でもあり、お断りしようと考えていたようなところから、今回の発表の話が出てきまして、結果として本当に良いかたちで参加ができたと思っています。また、今回、発表内容の事業に関わってくださった公民館の職員の方も大会に参加してくださいました。今まで、私たち社会教育委員しか参加してこなかった大会に、こういうかたちで御参加くださって、社会教育委員の活動を知っていただくことができ、とてもよい大会になったと思っています。

また今回の大会では、他市町の方々とテーブルを囲んで直接お話しできる場があり、非常に有意義だったと感じています。改めて、尽力いただいた事務局に感謝申し上げます。委員の皆様もこの大会で得たことを今後の活動に活かしていただければと思います。

それでは議題2を終了し、その他として事務局より事務連絡をお願いします。

#### ○事務局

来年度の会議予定ですが、現状、今年度ベースで定例会2回、理事会1回の予算要求をしております。今後、3月の議会で予算審議をするということになります。

4月24日（金）の午前中に第1回定例会を予定しております。各課の事業計画提示

や、青少年課の補助金に関する諮問などが主な議題となる見込みです。3月下旬に改めて通知いたします。事務局からは以上です。

○吉原議長

ありがとうございました。先ほど聞きそびれましたが、関東甲信越静社会教育研究大会に際し、加藤委員が協賛金を募ってくださった方々へ、お礼の冊子などは届いていますでしょうか。

○加藤委員

事務局から手配いただきました。ありがとうございました。

○吉原議長

承知いたしました。ありがとうございました。加藤委員も御協力ありがとうございました。

委員の皆様、他に何かございますか。

(特に声なし)

○吉原議長

では、本日の議題につきましては全て終了いたしました。これを持ちまして、令和7年度第2回社会教育委員の会議定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

○委員一同

ありがとうございました。

以上